令和８年度 第２回狭山市社会教育委員会議 会議録

開催日時	令和８年１０月６日（火）　１４時３０分から１６時３０分まで
開催場所	狭山市立中央図書館　視聴覚室
出 席 者	坂木委員　采澤委員　栗原委員　片山委員　太田委員　長谷川委員 河口委員　佐藤委員　安藤委員　酒井委員　池田委員　古谷委員 柴野委員　田中委員　菅野委員　宮地委員　前原委員　小畑委員 平居委員
欠 席 者	上西委員
事 務 局	五十嵐生涯学習部長　坂本社会教育課長　久保田　石岡　西島
傍 聴 者	０名

１　開　　会

２　生涯学習部長あいさつ

３　議長あいさつ

４　議　　事

（１）部活動の地域展開について（報告）
事務局より説明を行った。

委　員　部活動の地域展開において、平日と土日で分けているのにはなにか理由があるのか。

事務局　狭山市では、まずは第一段階として令和 8 年 8 月より土日に地域へ展開をして随時、平日の部活動へ展開していけるか検討していく流れになっている。

委　員　さやま茶レンジクラブの登録者が 711 名とあるが、全体の何割にあたるのか。

事務局　現在、登録している中に中学 3 年生も数人いるが引退の時期であるため、中学 1・2 年生を母数として考えた場合、4 月時点での生徒数は 1960 名いるため約 36%の割合を占めている。また、現在部活動に加入している生徒を母数にした場合、1411 名のうち、約半数が加入していることになる。

委　員　令和 8 年 8 月から部活動の地域展開が始まったと思うが、その反響を教えてほしい。また、PR の方法など工夫している部分はあるか。

事務局　9 月頭時点では、711 名と申し上げたが、10 月に入って 720 名ほどに人数が増えた。

PR の方法については、現在、さやま茶レンジクラブのホームページを公開している。これから更新の頻度を増やしていき、指導者の情報や見学への案内等を掲載できるようにしようと考えている。PR の方法についてはまだ検討の余地があるため、今後の課題にしたい。

委　員　自分の学校にはないクラブ活動に、さやま茶レンジクラブを通じて参加することができる点はとてもいいと思う。一方で、参加費用が発生することが参加への妨げになっている問題もあると思うが、そういった意見は出ているのか。

事務局　費用がかかることに抵抗がある方もいるという話は聞いている。そのため、就学援助を受給されている家庭には月額 2,000 円のうち 1,000 円を補助している。

（２）協議テーマについて

これまでの協議テーマについて、及び令和８・９年度社会教育委員会議協議テーマ（案）について、事務局より説明を行った。また、協議テーマについて、いくつか意見が提示された。

（意見抜粋）

- 若者が既存の市民団体に加わってイベントを盛り上げたり、幅広い年代が気軽に参加できる場づくりを行ったりすることで、若い世代の主体的な運営を促す機会を設けるべきである。

- 若者を必要とする企業や団体を中心としたネットワークを構築し、将来の組織運営を見据えて今のうちから若い世代を巻き込んでいくことが重要である。

- 大人が中学生とボランティアを繋ぐ役割を担うなど、地域に貢献したいと思っている若者が気軽に行動を起こせる環境づくりが必要である。

（３）その他

市として若者の地域参画を課題として捉えているのならば、社会教育委員会議に対して諮問するという方法もあるとの意見が出された。

５　事務連絡

事務局　次回の会議は、令和 9 年 1 月 22 日（金）14 時から 16 時 30 分を予定している。

６　閉　　会